

参加申込みの開始を 2009 年 3 月中旬といたします。

当初、2009 年 1 月からの申込み受付を、3 月中旬からに延期させていただきます。

ご承知のとおり、来年の会議の日程は秋の大型連休と重なり。更に世界的な航空燃料の値上がりにより、当初の料金よりも割高な運賃設定となってしまいました。

そこで、実行委員会では、現在の燃料費の値下げに伴う再料金の提示を旅行代理店、並びに航空会社と交渉中です。

2 ヶ月延期することで、少しでも旅行代金を低く抑えることができればと願っております。

皆様には何かとご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



祈りと献げものをもって JCE5 を皆で作り上げましょう！

JCE5 副実行委員長 中台孝雄

前回のニュースには、今回の伝道会議の総予算を「5,800 万円」と記しました。けれども、この数字はニュース発行直前の実行委員会において一部修正されましたので、ニュースと同時期に配布した献金趣意書の方では、より正確な最新情報として「総予算 6,200 万円」とご報告いたしました。

趣意書にはその内訳も掲載しましたが、さらに次の実行委員会において内訳を一部調整いたしました。具体的には「諸教団・諸教会からの協力献金を 1,500 万円から 2,000 万円」に、そして「篤志献金を 2,000 万円から 1,500 万円」に、と修正しました。(総額 6,200 万円は変わりません。)

収入内訳のこの修正は、伝道会議のために諸教団・諸教会が皆して協力し合ってささげよう、という決意を一層強く表明したものです。まずは私たち自身の手で必要のためにささげましょう。諸教団・諸教会の熱いご支援とご協力をよろしくお願いします。(財務責任者)

【祈祷課題】

- 1 大会全般について
 - 1) 本会議 (JCE5) が「日本伝道」「世界宣教」の前進に貢献できますように。
 - 2) 本会議に参加する教団・教会・団体・個人の交流が豊かな実を結びますように。
- 2 プログラムについて
 - 1) プログラム最終整備が御心に適ってなされますように。
 - 2) 15 のプロジェクトが順調に進みますように。
- 3 財務について
 - 1) 大会会議の総予算が満たされるよう、皆で共にささげることができますように。
 - 2) 参加希望者それぞれの必要が満たされ、喜びと感謝のうちに参加することができますように。



【献金送付の郵便振替口座】

加入者名： 日本伝道会議

口座番号： 00160-5-483905

(※ニュースレター 1 号、2 号で「口座番号」の誤記がありました。
申し訳ございませんでした。上記が正しい番号です。
ご確認をお願いいたします。)

第 5 回日本伝道会議運営事務局
 ・発行 原田憲夫 ・発行責任者 石田敏則
 ・編集 矢木良雄
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1
 OCC ビル JCE5 事務局
 Tel:03-3295-7321 Fax:03-3295-1933
 ホームページ：http://jce5.net
 e-mail: jce5office@jeanet.org
 印刷デザイン 大倉 寧

第 5 回 日本伝道会議

2009. 9/21 (月) ~ 24 (木)

2008 年
12 月発行

危機の時代における宣教協力

～もっと広く、もっと深く～

～宣教 150 年を迎える新しい日本と教会を拓くために～

<http://jce5.net>

「楽しさ一杯のプログラム」

企画推進プログラム局長 竿代照夫



伝道会議まであと 10 ヶ月、プロジェクトリーダー会合や現地視察などを通してプログラム

がほぼ確定しましたのでお知らせいたします。ここではその狙いをごく簡単に記します。

▽ 聖書講解＝アジア神学界をリードするナレンドラ・ジョン博士が三朝「宣教」をテーマにみことばを解き明かします。

▽ プロジェクト＝宣教協力の分野を 15 に分けて、共に語り、共に祈ります。第 2 日と第 3 日の午前、同じグループで会合することで、より深く問題を掘り下げ、また、今後の協力継続につなげます。これは、今回の伝道会議のカナメです。

▽ 昼食会＝第 2 日は地域別 (県別)、第 3 日は年代別の昼食会を行います。この会議後の協力関係作りのきっかけとなればという願いを持つての企画です。お弁当は北海道ならではの特選です (実行委員の試食済み！)。

▽ 午後は、バラエティに富んだ分科会・シンポジウムが組まれています。現地企画のもの、児童・青年・女性・家庭・信徒・社会・環境などなど興味ある課題が盛り沢山です。主講師のナレンドラ師や、北米ウェスレアン教会総理のジョアン・ライアン女史の講演もあります。(プロジェクトとは異なり) 第 2 日と第 3 日の継続性はありませんので、自由にお選びください。この時間帯の第 3 日に「北で 2009」というテーマで「青年大会」が開かれます。北海道青年は、プレ大会を通し

て盛り上がっています。北海道の外からも若いみなさん、ぜひ参加してください。

▽ 夕刻の集会は 5 時開始、7 時終了です。集会と集会の間の夕食よりも、全体が終わってゆっくり夕食をという考えからこの時間を決めました。

・第 1 日は、「歓迎の夕べ」です。北海道の宣教の歩みがビデオで、また、ウィリアム・クラークの生涯が紙芝居で提示されます。基調講演は「プロテスタント宣教 150 年」(山口陽一師) と「宣教協力のあり方」(竿代) です。

・第 2 日は聖会です。北海道連合聖歌隊の賛美、三浦光世氏などの証に続いて、村上宣道師のメッセージです。この時に子ども達の集会も行われますから、札幌の皆さん、ご家族連れでお越しください。

・第 3 日は宣教大会です。(青年大会で奉仕する) 音楽チームが最初の音楽を担当する予定です。子ども達の賛美のほか、北海道の学生達による「よさこいソーラン踊り」も披露されます。日本から海外へ派遣されている宣教師達・日本で働いている宣教師達が紹介されます。説教者は若手の米内宏明師です。

▽ 締めくくりの第 4 日午前は「札幌宣言」の採択・発表の時。閉会礼拝は原田憲夫師のメッセージの後、全員で聖餐式を守ります。

▽ 大会は正午で閉会ですが、旭川の三浦文学記念館・塩狩峠見学などオプションツアーも企画されています。

企画と調整をしながら、各プログラム担当者達の期待の盛り上がりを感じて、私の期待も高まって参りました。このニュースを読まれる皆さんも、期待をもって参加をご予定ください。

JCE5 分科会・シンポジウム紹介				
CODE	責任者	責任者団体	タイトル	内 容
2201	関根弘興	太平洋放送協会（PBA）	すぐに役立つ話し方 ～声とことばのレベルアップ	説教、司会、スピーチなどで使う道具である声とことばのレベルアップのための講座です。
2202	玉井邦美	日本同盟基督教団	信徒として教会に仕える ～輝け。目覚めよ。主の民よ！	信徒が証しと教会の建て上げのために召されていることを再確認します。
2203	永井敏夫	ディアスポラ宣教協力プロジェクト委員会	ディアスポラ宣教協力 ～神さまの視点から見直そう	グローバル化の時代に沿った内外連携、宣教協力のあり方について考えます。
2204	住田 裕	環境プロジェクトチーム	小さなエコ ～クリスチャンとして実践できること	環境問題について考え、今何ができるかを一緒に探って行きます。
2205	笹岡 靖	聖書の精神医療研究会	心病む人へのアプローチ ～医療、伝道の両側面から	心を病むことと信仰の関係をとらえ、教会がこの問題にどのように対応できるかを考えます。
2206	佐々木炎	東京基督教大学	高齢者介護と家族～教会のミッションと隣人愛の実践	福祉の面からミッションの概念を確認し、家族へのケアにどう取り組むかを考えます。
2207	杉本玲子	町田クリスチャンセンター	ホームスクール・チャーチスクール ～今、子どもの成長のために	教育現場の現状を知り、子どもたちの成長のために何ができるかを考えます。
2208	片山信彦	特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン	世界の子どもたち～神と人に愛されていることを知らせたい	世界の子どもの厳しい現実を知り、クリスチャンが子どものために何ができるかを考えます。
2209	藤田桂子	JCM (Japan Creative Ministry)	HIV/AIDS の方へのケア～救いを求めて来られた時に備えて	HIVへの教会の取り組みの紹介、日本における具体的準備と予防策について学びます。
2210	安藤能成	福音讃美歌協会	賛美の過去・現在・未来 ～福音派の会衆賛美を考える	会衆賛美の意味を考えます。また福音讃美歌協会が検討している新曲も紹介します。
2211	竿代照夫	プログラム企画推進局	セクハラへ問題への取り組み ～福音理解を深め、成熟した教会・教団へ	セクハラと福音理解の関係とは、また健全な成熟した教会とは何かを考えます。
2212	堀越暢治	いのちありがとうの会	いのちありがとう ～いのちの問題は発想の転換から	発想を転換して、いのちということを切り口にした前向きな伝道のあり方を探ります。
2213	長谷川与志充	三浦綾子読書会	三浦綾子と日本伝道 ～三浦作品の影響を再評価する	三浦作品が伝道において果たした役割と影響の大きさを再評価し、伝道のための鍵を探ります。
2214	正田眞次	学座・とうごまの葉の下	絵本の読み聞かせ ～聴く力を養うために	福音を伝え、信仰を継承するための一つの手段となり得る絵本の朗読について学びます。
2215	西岡義行	東京ミッション研究所	日本人の心に届く宣教の提言 ～葬儀の取り組みの実例	従来の福音宣教のあり方とはひと味違う、日本人の心に届く福音の提示とは？
2216	佐久間章	聖書を読む会理事長	生き生き聖研 ～発掘、発見、発表	聖研は聖書と手引きさえあればどこでもできます。その方法を、実習を交えて紹介します。
2217	趙 南洙	仮称：日韓宣教フォーラム	日韓教会の宣教協力 ～日韓宣教フォーラム実現へ向けて	韓国の教会との協力が急速に拡大していることを踏まえ、さらなる協力のあり方を探ります。
2218	小菅 剛	日本イエスキリスト教団	異端・カルト宗教 ～現状と対策を考える	社会問題となっている異端や新しいカルト宗教についてどのように対応するかを考えます。
2219	森 直樹	牧会塾ディレクター 浦安国際キリスト教会牧師	心の時代と教会 ～苦悩する教会者と共に	心の問題や傷を抱えた方々について、また牧会者自身のメンタルケアについて考えます。
2220	赤松 清	新生宣教団	日本宣教の突破口 ～ヒルマン監督のケース	今までにない拡がりを見せたヒルマン監督のケースから何を学ぶことができるかを考えます。
2221	八尋 勝	開催地委員長	札幌バンド軌跡ツアー ～ゆかりの地を訪ねて（有料）	有料の観光バス・ツアーです。定員になり次第締め切ります。
2231	八尋 勝	開催地委員長	アイヌ宣教 ～その課題と可能性について	アイヌ民族への宣教の課題と可能性について学び合います。
2232	横山基生	海外宣教連絡協力会（JOMA）会長	世界宣教再考 ～主が求められておられる世界宣教とは	宣教師の報告を聞き、今自分にできる宣教の貢献について、神さまのみこころを探ります。
2233	Dale Little	JEMA	21 世紀の日本の伝道 ～JEMA の視点から	21 世紀の伝道のあり方について、来日している宣教師の視点から問題提起をします。
2234	竿代照夫	プログラム企画推進局	世界に希望を～ワールドホープの実例から	困難の中にいる人々に、世界 20 数カ国で援助活動を行っている一つのケースを紹介します。
2301	稲垣久和	東京基督教大学	教会と福祉 ～福祉の担い手はだれ？	教会はどのような意味で福祉の担い手なのかを聖書的視点から考えます。
2302	福井 誠	お茶の水聖書学院	子どもの心の傷と教会 ～今教会は何ができるのか	豊かな社会の一番の被害者である子どもの心について教会が何ができるかを考えます。
2303	錦織 寛	日本ホーリネス教団 東京中央教会	今こそ子どもたちと共に ～危機感なんて吹っ飛ばせ！	教会学校の危機の時代に、積極的に子ども伝道に取り組んで行く重要性について考えます。
2304	山口陽一	東京基督神学校校長	21 世紀の神学校の課題 ～ポスト・モダンと神学教育	ポスト・モダンの時代の神学教育の課題と展望について、ナレンドラ・ジョン師を囲んで考えます。
2305	田村治郎	日本国際飢餓対策機構	神の国の実現のために ～キングダム・コンソーシアム	この日本に神の国が実現するためにどのような協力ができるかを探ります。
2306	荒川雅夫	社会・平和プロジェクト	平和の種をまこう！ ～戦争・差別・和解・平和	歴史に学び、将来を展望し、平和をつくる者となるために何ができるかを考えます。
2307	高田篤美	B.F.P. Japan	神のご計画とイスラエル ～この時代に生きる日本人の役割	将来が見えない時代に、イスラエルを切り口にして、主のみこころが何かを考えます。
2308	郷家一二三	日本ホーリネス教団 坂戸キリスト教会	心に届く説教 ～伝道と牧会の視点から	どうしたら心に届く説教を準備し、語ることを一緒に学び合います。
2309	コール・テモテ	ファミリー・フォーラム・ジャパン	聖書の性教育 ～青少年伝道のためのアプステナンス教育	モラルが低下した時代に、聖書が語る性教育はどうあるべきか。実例を交えて学びます。
2310	高橋 清	CRJ 会長 西多賀聖書バプテスト教会牧師	聖書と自然科学 ～ダーウィンメガネをはずして	聖書と自然科学の関係、進化論の問題点、聖書の創造の世界観について学びます。
2311	市村和夫	インターナショナルVPクラブ 創設者・代表役員	ビジネスパーソン宣教 ～ビジネスの世界でのクリスチャンの役割	ビジネスマンが福音宣教において果たすべき役割は何かを考え、協力のあり方を模索します。
2331	三橋与志哉	青年プロジェクト	青年大会 ～「北で 2009」Be ambitious in Christ～	キリストにあつて大志を抱け～青年大会、1,500 人を目指して
2332	山口陽一	日本同盟基督教団	プロテスタント宣教 150 年の課題 ～『日本プロテスタント宣教 150 年』に学ぶ	記念出版された書籍を紹介し、プロテスタントの宣教の歴史を学びます。
2333	石田敏則	運営事務局	三浦綾子と共に歩んだ日々 ～三浦光世講演会	三浦綾子氏と共に生きた恵みの軌跡について夫の三浦光世氏が語ってくださいます。
2334	品川謙一	運営事務局	メディアと教会	
2335	竿代照夫	プログラム企画推進局	教会における女性の役割 ～牧師夫人、母、リーダーとして	牧師夫人、母であり、ウェスレアン教団初の女性総理に選ばれた器の証しを伺います。

札幌での一年前プレ青年大会 「北で 2008」

9 月 14 日～15 日、札幌青少年会館で一年前プレ青年大会が開催されました。準備・運営は青年たちの自発的は協力によるもので、50 を超える教会の 500 名近い青年たちが結集しました。すでに 6 月から 3 回の「賛美・祈り会」を重ね、盛り上がりを見せていました。

当日はメインセッションを 2 回、それにグループに分かれてディスカッションの時を持ちました。メッセージは三橋恵理哉先生（札幌キリスト福音館）が「次世代への宣教協力」をテーマに語られました。来年の伝道会議に繋がる、主にある青年たちの底力を見せつけたプレ大会でした。



札幌プレ大会
ステージ上の様子

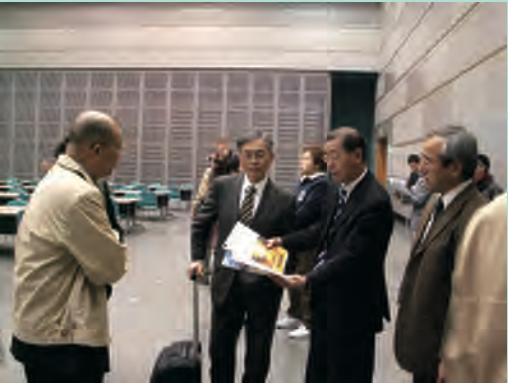
会場となる札幌コンベンションセンターを視察 2008 年 10 月 27 日（月）～29 日（水）



札幌コンベンションセンター外観

今年一番の冷え込みとなった札幌で、日本伝道会議の準備を担う実行委員・事務局・プログラム局が会場となる札幌コンベンションセンターの視察を行いました。新千歳空港から JR、地下鉄を乗り継いで約 50 分、北海道らしい広々としたロケーションに建つ会場に到着。

全体集会の会場となる大ホールで



コンベンションセンター内部の廊下
談話スペースを有する

ただちに建物内を案内していただきました。2,500 名収容のメイン会場をはじめ、数百人規模のホールが 3 つ、プロジェクト等を行う会議室が 15 室、ガラス張りのエントランスホールを囲んで機能的に配置されていました。受付やブース設置のスペース、音響施設などを確認しながら全体を見て回りました。隣接する産業振興センターも分科会会場としての使用を予定しています。

2 日にわたる視察・打合せの後、中島秀一会長、原田憲夫実行委員長、開催地委員会の八尋勝委員長を中心に実行委員会を開催しました。締め括りに伝道会議のために注ぎだして祈りました。東京に戻る前、初雪が舞う旭川の三浦綾子記念文学館に三浦光世氏をお訪ねし、当日の講演依頼と打合せの時を持ちました。ご当地弁当の試食会など楽しい企画もあり、非常に有意義な視察旅行を実施することができました。